

【校地、校舎等の施設及び設備等の整備について】

1. 校地、運動場の整備について

(1) キャンパスの構成

本法人は、東京都の特別区人事・厚生事務組合より、旧東京都特別区職員研修所を校舎として借用し、2008（平成20）年度より臨床福祉専門学校を運営してきましたが、専門職大学に必要な施設・設備を備えるべく2020年4月1日までに改修を行いました。

改修概要は、本館を講義棟、別館を実習・研究棟という構成として、専門職大学として十分な施設の整備を行い、専門職大学の研究を行うためのスペースとして、個人研究室55室（学長室含む）を整備しました。さらに、学生の研究・制作等に必要スペースとして、演習室8室を整備しました。

(2) 教育にふさわしい環境

所在地の東京都江東区塩浜は、臨海部エリアに位置しており、東京23区内に位置する高い利便性を活かして、専門職大学として積極的に産業界及び地域の関係施設等との連携を図り、臨地実務実習を行うことが可能立地です。近隣には、重度知的障害者施設塩浜福祉園、特別養護老人ホーム塩浜ホーム、特別養護老人ホームらん花園、在宅介護支援センターらん花園、鈴木病院（救急指定）等、福祉や医療関連の施設が集積しています。

専門職大学は、社会人で仕事をしながら学ぶ層も対象としているため、本学所在地は仕事帰りでも学びやすい場所にあると言えます。交通の便は、東京メトロ東西線「東陽町駅」から徒歩約12分、「木場駅」から徒歩約15分であり、東京都内はもちろん、神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県からも通学が可能です。

以上のとおり、教育研究環境に恵まれ、産業界等及び関係施設等の連携を図るにも利便の良い、社会人の学び直しに最適な環境となっています。

(3) 校地及び校舎面積

所在地の校地総面積は、6,757.50 m²です。また専門職大学と専門学校を併設する期間の専門職大学完成年度における専修学校設置認可基準面積は以下のとおりで、校舎総面積13,537.34 m²から不算入施設の講堂479.63 m²を除く13,057.29 m²に対し、2023（令和5）年度（完成年度）基準面積9,009 m²であり、専門職大学と専門学校（言語聴覚療法学科、理学療法学科）を併設した際の校舎面積は、各基準面積の合計をクリアしています。

専修学校設置認可基準 別表第2（第47条関係）

専門課程医療分野の生徒総定員41人以上のとき $260 + 3.0 \times (\text{生徒総定員} - 40)$

内訳 専門職大学 基準面積 $(640 - 400) \times 3140 \div 400 + 5785 = 7,669 \text{ m}^2$

専修学校 基準面積 $260 + 3.0 \times (400 - 40) = 1,340 \text{ m}^2$

なお、本館と別館の校舎面積は以下のとおりです。

	面積	不算入施設	合計
本館	7,369.34 m ²	479.63 m ²	7,848.97 m ²
別館	5,688.37 m ²	—	5,688.37 m ²
合計	13,057.71 m ²	479.63 m ²	13,537.34 m ²

(4) その他の施設

その他の施設は、本館 1 階と別館に集約し、効率化を図る。特に情報処理室、図書室、自習室を別館に設置し、情報収集の利便性を図っています。

なお、校舎内に無線 LAN を整備し、PC やタブレット等を持参する学生の学修環境にも対応できるよう計画を進めています。

館	階	室名	面積	用途等
本館	1 階	講堂	479 m ²	395 座席
		運動室	141 m ²	軽運動・球技
		保健室	41 m ²	ベッドと薬剤を用意
		学生控室（ラウンジ）	216 m ²	休息、談話等
別館	1 階	情報処理室	142 m ²	PC45 台を設置
	2 階	図書室	473 m ²	閲覧 130 席を設置
	6 階	自習室	147 m ²	自習 100 席を設置

2. 校舎の状況

(1) 講義室等

講義室は、学科の学級単位の授業に対応する講義室 16 室、合同授業の対応が可能な大教室を配置し、効率的に学習を行えるように整備を進めています。。

館	階	室名	面積	座席	備考
本館	2 階	講義室 4 室	108~112 m ²	各 44 人	改修工事
	3 階	講義室 6 室	110~112 m ²	各 44 人	整備済
	4 階	講義室 6 室	110~112 m ²	各 44 人	整備済
別館	6 階	大教室	196 m ²	120 人	整備済

(2) 実習室等

実習室等は、設置学科の理学療法士 作業療法士 学校養成施設指定規則を踏まえ、整備してきました。

館	階	室名	面積	用途等
本館	1階	水浴室	68 m ²	水治療
		ADL室	72 m ²	日常生活
	3階	女子更衣室	128 m ²	更衣
	4階	男子更衣室	127 m ²	更衣
	5階	基礎作業実習室	112 m ²	木工・金工
		基礎作業実習室	110 m ²	陶工・絵画
基礎作業実習室		112 m ²	織物・手工芸	
別館	1階	ADL室兼動作解析室	132 m ²	日常生活、三次元動作解析
		基礎医学実習室	128 m ²	解剖学・生理学・運動学等
		補装具室	128 m ²	義肢装具の製作等
	4階	評価実習室	101 m ²	筋機能等の検査
		レクリエーション室	98 m ²	レクリエーション
		機能訓練室	96 m ²	機能回復の訓練
	5階	治療室	127 m ²	理学療法の治療
		治療実習室	124 m ²	作業療法の治療

(3) 演習室

演習室は、専用に8室を設置しました。

館	階	室名	面積	用途等
本館	5階	演習室 5室	54～57 m ²	演習、グループ学習
別館	3階	演習室	43 m ²	演習、グループ学習
	4階	演習室	43 m ²	演習、グループ学習
	5階	演習室	43 m ²	演習、グループ学習

3. 設備等の整備

(1) 校具の整備

教育上必要な校具は、専門学校として一通り揃っていましたが、専門職大学としてふさわしい学習環境を整備するに当たり、教卓・学習机・学習椅子を購入し、すべての講義室に据置型のプロジェクターを設置しました。

(2) 教具の整備計画

教育上必要な機械器具等の教具に関して、本学の理学療法士養成に係わる機械器具等については、大部分の校舎が専門職大学へ転用される専門学校（臨床福祉専門学校、理学療法

学科昼間部3年制入学定員80名、夜間部4年制入学定員40名)で、既に、「理学療法士作業療法士養成施設指導要領(厚生省健政発第379号平成11年3月31日付)」に基づき整備済みでした。作業療法士養成に係わる機械器具等については、当該養成施設指導要領に基づき、開学前に整備しました。

4. 教員の研究室、教室の整備計画

専門職大学として活用する校舎は、本館は旧耐震基準の建物であるため、臨床福祉専門学校が2008(平成20)年2月に耐震補強工事を済ませており、新館は新耐震基準の建物である。また、2008(平成20)年3月に東京都江東区より建築基準法第6条第1項による確認済証を得て学校用途に変更しており、耐震性等は基準を満たして安全です。

耐震補強工事を済ませ、新館は新耐震基準

教室等は、専門職大学設置基準はもとより、設置学科の理学療法士 作業療法士 学校養成施設指定規則を踏まえ、改修工事を開設前年度に行い、専門職大学にふさわしいコンパクトで効率的な施設に改修しており、本館が講義を中心とした講義棟、別館が実習や研究を中心とした実習研究棟となっています。

(1) 研究室等

専任教員が教育研究に取り組む環境として、全専任教員の個人研究室を用意しています。各教員には個人研究室の鍵を渡し、退室時に施錠することで教育研究上の機密情報を管理できるようにした一方、ハラスメント対策としてドアには透明のスリットを設け、プライバシーに配慮した学生の個人面談等を行うスペースとしても活用できます。

なお、個人研究室には鍵付きの机、椅子、書架、パソコン、プリンターの他、個人面談用のテーブル等を用意しています。その他、教員の研究実験室は、理学療法領域で主として使用、作業療法領域を主として使用する2室を整備する。

館	階	室名	面積	備考
別館	3階	個人研究室 25室	15~20 m ²	専任教員全員に用意
	4階	個人研究室 10室	15~20 m ²	
	5階	個人研究室 10室	15~20 m ²	
	6階	個人研究室 9室	15~20 m ²	

※上記のほか、学長室として1室を整備

(2) 体育館に係る代替措置

体育実技等の授業はありませんが、学生の健康増進や障がい者スポーツの体験授業を目的としたその他のスポーツ施設として、運動室141m²を本館1階講堂横に設置しています。

さらに代替措置として、東京都江東区の全スポーツ施設と利用契約を締結し、大学公認団体が授業時間外に課外活動を行う際の費用を補助金として交付する制度をつくっています。

大学公認団体は、「学生団体取扱規程」に基づき、専任教職員を顧問とし、「学生団体設立許可願」に必要事項（名称、目的、活動内容、活動場所、役員構成、会員名簿、会費等）を記載して申請し、学生委員会が認定します。条件は以下のとおりです。

- ① 年間活動計画が明確であり、将来に渡って継続した活動が見込めること
- ② 構成員が2名以上であり、顧問の指導監督及び責任のもとに学生代表者、会計が統括していること
- ③ 各部員より部費を徴収し予算計画を有しているとともに、役員による管理体制が明確であること
- ④ 大学の管理及び運営に貢献可能な態勢を整えていること

なお、学生個人が利用する時は、大学が購入した利用券を事前に受け取り、課外活動を行います。事後となった場合でも、領収書で精算することで経済的負担の軽減を図っています。

(3) 学生の休息その他のための適当なエリアの整備状況

学生の休息等のための適当な空地として、開放的であり多くの学生が余裕をもって休息や交流にすることを考慮し、本館1階に216㎡を設け、売店を設置しています。

なお将来は、学生の休息のための適当なエリアとして庭園1649㎡に芝生を生育して開放することを計画しています。

5. 図書等の資料及び図書館の整備について

(1) 図書室設備の整備

図書室は、既に別館2階に書架30,000冊分を整備済ですが、20,000冊分を増設することで50,000冊分とし、完成年度後も継続して図書を整備していきます。

なお、収容定員2割の閲覧135席を用意し、授業連携や調べ学習に対応するとともに、別館にPC45台を設置した情報処理室を配置しています。

(2) 図書等の資料の整備

一般書を含み、保健医療、リハビリテーション関連を中心とした専門職大学としての教育研究上に必要と思われる図書約2万冊が整備されています。

今後は、保健医療領域だけでなく、教育課程に沿って、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目に設定する授業科目に関連し幅広く厚く、「教育研究上の必要性の観点から十分な内容」及び冊数となるよう、各領域と教育課程に基づいて一層の充実を図っていきます。

視聴覚教材は、学生にとって臨床現場での実体験が難しいもの、初歩段階での理解を促せる観点のものも含めて約650種を用意しています。

学術雑誌は、リハビリテーション、理学療法、作業療法を中核として、医療マネジメントなどにも配慮し、適切な選書としています。

電子ジャーナルの国内雑誌はメディカルオンライン、英文雑誌は ProQuest を導入し、教育研究環境を整えています。

なお、図書の管理については、図書職員が配架・整理・貸出を行っています。

(3) 図書等の資料の検索

図書等の検索は、Pubmed、株式会社ブレインテックの図書館パッケージシステム「情報館」を導入し、OPAC(Online Public Access Catalog、オンライン蔵書目録)により、学生が教育研究に活用できるよう、自宅等の PC で検索できるサービスを提供しています。

学術文献検索としては、PubMed を活用しています。

(4) デジタルデータベース、電子ジャーナル等の整備

外部のデジタルデータベースとして、オープンアクセスの CiNii、電子ジャーナルは、教育研究上の必要性を鑑み、オープンアクセスの J-Stage に加え、メディカルオンライン、英文電子ジャーナルの ProQuest を導入し、教育研究環境を整えています。

6. 施設・設備の共用

既設の専門学校等を共用する施設・設備

2021(令和3)年度は、既設の臨床福祉 理学療法学科夜間部4年と共用し、2022(令和4)年度から専門職大学専用となりました。

専門職大学と専門学校を併設する期間の校地面積は、専門職大学設置基準と専修学校設置基準の校舎面積を合算した基準面積をクリアしています。